

10月は「どくしょ」の月です

10月はなんといっても、読書の月です。きらり祭の準備で忙しいとは思いますが、本は癒やしにもなります。疲れたときには楽しい本を読んで、リフレッシュしましょう。ちなみに文化図書委員は、きらり祭のプログラム作りを行います。



T**先生**

おすすめの本



『どうぶつなあに』

数字のこぐまのクーとマーがねんどでたくさんの動物をつくり、そのかたちを見て、つくった動物を想像していく絵本です。ページをめくるたびに海や陸で見る、いろいろな動物がでてくるので、おともだちと一緒に見ても楽しい絵本です。みなさんも「これ、なーんだ?」してみてください。









こんげつ 今月のおすすめ本



『舟を編む』

三浦しをん/著

国語辞書を作り上げていくお話です。

記述はスマホがあれば紙の辞書はいらない

時代ですが、この本を読むと「紙の辞書っ

て素敵だな」と思います。2012年に

本屋大賞を受賞した作品です。

ながら今日も一緒に過ごしています。

『ちょっとだけまいご』

クリス・ホートン/作

迷子になったチビフクロウ。おかあさんを無事に見つけられるのか?
大冒険(?)のはじまりです。動物たちの愛らしい表情と絶妙な色使いが素敵な絵本です。

10月27日~11月9日の 14日間は第75回読書週間です。今年の標語は「最後の頁を閉じた 違う私がいた」です。私も本を読む前と読んだ後で、物事の見方・感じ方がだきく変わった経験が何度かあります。そんなときにが必ず思うのが「読書って楽しい」「本って留白い」ということです。そういう本と出会えていなければ、いま、この学校でみなさんと一緒には過ごせていません。みなさんにも自分を変えてくれるような素敵な本と出会ってほしい、と思い

すた 少しだけ真面目なこと

を書いてみました。

(ap)